

意見書案第4号

北陸新幹線延伸計画の中止を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和7年3月21日提出

提 出 者

向日市議会議員 米 重 健 男

賛 成 者

向日市議会議員 杉 谷 伸 夫

〃 山 田 千枝子

北陸新幹線延伸計画の中止を求める意見書

国土交通省及び独立行政法人「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」は北陸新幹線の整備を進めているが、この間のルート選定等において、地域住民の求めに応じず、環境アセスメント等を進めて来ており、非公的な集団である「与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会」の求める「小浜・新大阪ルート」は区間の80%が地下区間となる。本ルートにおいては、有害物質の残留するトンネル残土や地下水への影響が懸念されているが、その処理方法等について何ら説明が行われていない。また、「京都新駅」についても、「東西案」「南北案」「桂川案」を候補地として示しているものの、周辺自治体に対しては何らの説明もない。

概算事業費についても、当初試算から2倍以上の4.8兆円～5.3兆円に膨らみ、工期も15年から最長28年に延びることが国土交通省により明らかにされた。また、本件事業の費用便益比は1.0を下回る可能性が高いとの指摘もあり、経済合理性が欠如しており、自治体財政に多大の悪影響をおよぼすことが懸念される。

本市においても、「桂川案」の大深度地下工事に伴う地下水への影響など周辺環境に及ぼす影響の説明もなく一方的に計画が進められる事は受け入れがたいものである。また、巨額の負担による京都府財政への影響は、財政悪化の懸念とともに都市基盤整備事業及び福祉事業等の削減を憂慮するものである。これらの状況を踏まえれば、北陸新幹線延伸計画の及ぼす本市への影響は、到底看過できないものである。

よって国においては、敦賀新大阪間の北陸新幹線延伸計画を中止するよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和7年3月21日

京都府向日市議会